



中央保育所

## 第395回 3月定例会

### 一般質問

- |        |       |     |    |     |    |
|--------|-------|-----|----|-----|----|
| かわしまみ  | な     | たか  | さか | じゅん | こ  |
| ・河島三奈  | ・高坂純子 |     |    |     |    |
| こばやしちづ | こ     | やま  | もと | ご   | ろう |
| ・小林千津子 | ・山本悟朗 |     |    |     |    |
| やまなか   | おさ    | まつ  | い  | まさ  | し  |
| ・山中修己  | ・松井精史 |     |    |     |    |
| ふじ     | わら    | あきら | おか | しま  | まさ |
| ・藤原章   | ・岡嶋正昭 |     |    |     |    |
| まえ     | だ     | みつ  | のり | たけ  | うち |
| ・前田光教  | ・竹内修  |     |    |     |    |

議会傍聴

3月定例会 73人  
〔26年度累計 267人〕

## 3月定例会—主な内容—

- こんなことが決まりました……………2～4
- 一般質問の発言者……………5
- 一般質問の内容について……………6～10
- 常任委員会の審査報告……………11
- 予算特別委員会の審査報告……………12～13
- 平成26年度政務活動費収支報告……………13
- 全国から視察続々……………14～15
- 議会の動き、6月定例会の傍聴案内……………16

3月  
定例会

こんなことが決まりました。

3月定例会は、2月26日から3月26日まで29日間開催しました。平成27年度当初予算をはじめ、平成26年度の補正予算や条例制定、議員提出議案などを含む議案25件を原案のとおり可決・同意しました。

制定・改正された条例

小野市議会委員会条例及び小野市の組織及びその事務分掌に関する条例の一部を改正する条例の制定について



地方自治法第158条第1項に規定する長の直近下位の内部組織に「市長公室」を新たに設置する。また、小野市議会総務文教常任委員会の所管事項に「市長公室」を加えるとともに、審議件数の均衡を図るため、これまで民生地域常任委員会に属していた市民安全部の所管に關す

る事項を総務文教常任委員会の事項とする。(平成27年4月1日施行)  
小野市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について

国民の権利利益の保護を図るため、国における行政が行う処分や行政指導などの手続を規定する「行政手続法」が一部改正され、行政指導において3点(許認可権限等の根拠の明示、行政指導の中止の求め、行政指導・処分等の求め)の手続が追加された。改正法が平成27年4月1日から施行されるのに伴い、市においても法律の改正内容に準じて小野市行政手続条例を改正しようとするもの。(平成27年4月1日施行)  
小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
福祉医療費助成の対象となる者の所得額に関し地方税法の規定を引用している部分について、地方税法の改正に伴い項が移動したため改正しようとするもの。(対象及び内容に

<主な国民健康保険税の改正内容>

(単位:%円)

	医療分		後期高齢者支援分		介護分	
	改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後
所得割	7.10	8.20	2.50	同左	2.30	同左
資産割	7.50	廃止	1.50	廃止	1.50	廃止
均等割	25 000	26 000	8 000	同左	9 000	同左
平等割	23 000	25 000	7 000	8 000	6 000	同左
特定世帯	11 500	12 500	3 500	4 000	-	-
特定継続世帯	17 250	18 750	5 250	6 000	-	-
限度額	510 000	520 000	160 000	170 000	140 000	160 000

均等割・平等割について低所得者には軽減措置(7割・5割・2割)あり。

ついでには変更なし。  
「公布の日から施行」  
小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について  
年々増加する医療費負担に対応するため税率を改正するとともに、地方税法施行令が改正されるのに伴い

国民健康保険税の課税限度額等を見直そうとするもの。一方で、資産割については自宅など収益性のない土地建物も課税対象(所得がない方も課税)となり低所得者への負担となつていくことや、市町村国保の広域化を見据えた環境整備等のため廃止する。具体的な主な税率改正は表のとおり。

小野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

第6期介護保険事業計画(平成27(29年度)の策定にあわせて平成27年度から平成29年度までの第1号被保険者の保険料率を改正しようとするもの。(介護保険法施行令の改正により1号被保険者の負担率の21%から22%への引き上げや、介護保険料の基準が6段階から9段階へとより細やかな設定へと見直されたことに伴い同基準に準じて改正するとともに、所得の高い被保険者に対する市独自の基準率を設定)

また、介護保険法の改正に伴い介護予防・日常生活支援総合事業が市町村の事業として位置づけられたことに対し、当該事業実施にかかる準備期間を設け事業開始時期にかかる経過措置を規定しようとするもの。(平成27年4月1日施行)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施

行（平成27年4月1日）に伴い、これまでの教育委員長と教育長を一本化した新教育長が設置されその身分が一般職から特別職へと変更になったことにより関係条例（職員定数、特別職の給与、特別職報酬審議会、職員の旅費等）の整理を行おうとするもの。（平成27年4月1日施行）

委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本条例から教育委員長及び社会教育委員を削除しようとするもの。

小野市社会教育委員の定数及び任期に関する条例を廃止する条例の制定について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、総合教育会議が設置され教育を行うための諸条件の整備その他地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策等について協議が行われることになり、これまでの社会教育委員会での審議事項と内容が重複するため廃止しようとするもの。（平成27年4月1日施行）

## 主な議案

小野市公平委員会委員の選任について

平成27年3月25日で任期満了する松永美由紀氏の後任として、新たに公平委員会委員に選任するため地方

公務員法第9条の2第2項の規定により、議会の同意を求めもの。

住所 小野市下来住町  
氏名 浅田 久子氏

損害賠償額の決定及び民事調停の成立について

損害賠償額を確定させ、民事調停を成立させようとするもの。

民事調停条項骨子

(1) 市は、相手方に対し、平成25年8月25日に発生した集中豪雨により、相手方工場が浸水し、相手方の機械、商品等が浸水した被害に関するすべての損害賠償金として、金800万円の支払い義務があることを認め、本調停成立後1ヶ月以内に支払う。

(2) 市と相手方は、本調停成立により、本件集中豪雨に関する相手方の被害について、一切解決済みとし、本件調停条項のほかは、本件集中豪雨の被害に関し、何らの債権債務のないことを相互に確認する。

小野市教育長の任命について

現教育長、陰山茂氏の教育委員としての任期が、平成27年3月31日で満了となり、併せて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正されたことにより、平成27年4月1日からの小野市教育長として陰山茂氏を任命したので、改正後の地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求めもの。

## 議員提出議案

小野市農業委員の推薦について

平成27年4月19日に任期満了となるので、農業委員会等に関する法律第12条第2項の規定により、次の4人を学識経験者として議会が推薦することに決定しました。

小野市中町 市橋 薫 氏  
小野市下来住町 藤尾 淳子 氏  
小野市王子町 柳田 義實 氏  
小野市住吉町 岸本 富生 氏

## 意見書関係

- ・TPP交渉に関する意見書
- ・米価下落に対する緊急対策を求めの意見書
- ・ウィルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

この意見書3件は、採決の結果、可決されました。また、この意見書に係る行政に提出しました。意見書の内容につきましては、小野市議会ホームページに掲載しています。

## 補正予算関係議案

平成26年度小野市一般会計補正予算(第6号)

補正額 815・000千円 減額  
補正後総額 19,053,200千円  
平成26年度小野市国民健康保険特別

会計補正予算(第3号)

補正額 50・000千円 追加  
補正後総額 6,107,000千円

平成26年度小野市介護保険特別会計補正予算(第4号)

補正額 300千円 追加  
補正後総額 3,737,800千円

平成26年度小野市水道事業会計補正予算(第2号)

収益的収入  
補正額 2・500千円 減額  
補正後総額 1,330,000千円

収益的支出  
補正額 19・350千円 減額  
補正後総額 1,330,000千円

資本的支出  
補正額 214・150千円 減額  
補正後総額 1,039,000千円

平成26年度小野市下水道事業会計補正予算(第3号)

収益的収入  
補正額 10・000千円 追加  
補正後総額 1,601,000千円

収益的支出  
補正額 56・600千円 減額  
補正後総額 1,821,000千円

資本的収入  
補正額 158・000千円 減額  
補正後総額 1,029,000千円

資本的支出  
補正額 131・200千円 減額  
補正後総額 1,475,000千円

平成26年度小野市一般会計補正予算(第7号)

補正額 133,000千円 追加  
補正後総額 19,186,200千円

追加

追加

追加

## 一般会計補正予算の主な内容

今回の補正では、道路空間を活用した市境等での案内板整備経費を措置し、市債の繰上償還に要する経費などを増額する一方で、各一部事務組合負担金、人件費などの決算見込みによる減額補正を行うもの。また、国の経済対策補正に伴い実施する地方創生関連経費とプレミアム付き商品券の発行費用等を補正しようとするもの。

### 平成26年度一般会計3月補正予算概要

(単位：千円)

内 容	担当課	補正額	補正後
自治会役員女性参画推進事業経費 自治会での継続的な女性役員の登用を支援。(補正後予算:23自治会分)	市民安全部 (ヒューマンライフグループ)	500	4 000
障害者等自律支援給付費 障害者等の医療費、福祉サービス費の増に伴う増額。	社会福祉課	11 800	642 092
国民健康保健特別会計繰出金 医療給付費の増加に伴う繰出金などを追加措置。	市民課	45 000	490 305
介護保険特別会計繰出金 介護認定に係るシステム等経費、審査経費の増に伴う増額。	高齢介護課	2 225	564 304
生活保護措置経費 生活保護受給者の入院件数、入院費用の増に伴う増額。	社会福祉課	20 000	313 017
北播磨総合医療センター企業団負担金 小野、三木両市で総額13億円を支援。負担経費の精査による増額。	健康課	4 652	550 552
道路空間利活用案内板整備事業 市境等に案内看板を設置し、PR・イメージアップを図る。	観光課	23 344	23 344
長期債償還元金 市債残高抑制のため、残高の一部を繰上償還。	財政課	55 220	1 648,323
地方版総合戦略等策定経費 地方人口ビジョン、地方版総合戦略を策定	総合政策部	10,000	10,000
地方創生先行型事業推進経費 定住促進・コミュニティ支援・少子化対策・女性活躍支援等を実施 住むならおの推進事業委託料 地域活動拠点づくり事業補助金(前倒し) 自治会役員女性参画推進補助金(前倒し) 特定不妊・不育症治療費助成(前倒し)	総合政策部 市民サービス課 市民安全部 健康課	40,000	40,000
消費喚起事業経費 プレミアム商品券(プレミアム分:上乗せ20%)の発行委託等 発行総額:3億6 000万円 発行冊数:3万冊 対象者:市内在住者 利用可能店舗:市内取扱登録店舗	産業課	75 000	75,000

(単位:千円)

会 計 別		平成27年度
一 般 会 計		19 270 000
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	6 745 000
	介 護 保 険	3 650 000
	後 期 高 齢 者 医 療	491 000
	小 計	10 886 000
企 業 会 計	都 市 開 発 事 業	48 300
	水 道 事 業	1 935 000
	下 水 道 事 業	3 426 000
	小 計	5 409 300
合 計		35 565 300

特色ある地域づくりの推進、子ども・子育て、教育環境の充実、元気で美しい都市の創造、安全・安心な暮らしの追求に重点を置いた、平成27年度当初予算が上程され、予算特別委員会での付託審査を経て、可決されました。

**平成27年度当初予算関係**



(入所式:今日から「もも組」(年中)たのしみだ! 中央保育所)

(一般質問は発言した議員が編集しました)

# 平成27年 3月定例会

市議会HP内の「ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス:<http://www.ono-sigikai.jp/>

## 一般質問発言者

### 河島三奈議員

- ・小野市における安全・安心への取組について
- ・中学校における部活動について

### 高坂純子議員

- ・小野市消防団女性分団(サンフワーズ119)について
- ・健康づくりと小野市総合体育館アルゴの活用について
- ・議案第1号 平成27年度小野市一般会計予算について

### 小林千津子議員

- ・安全安心なまちづくりについて
- ・男女共同参画推進について

### 山本悟朗議員

- ・小野南中学校の校舎大規模改修について
- ・生徒の個性を生かす中学校教育のあり方について
- ・議案第1号 平成27年度小野市一般会計予算について

### 山中修己議員

- ・第6期介護保険事業計画について
- ・公用車の管理について
- ・小野市の資金運用と公金等の管理について

### 松井精史議員

- ・小野長寿の郷(仮称)構想における福祉拠点先行整備事業等について
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について
- ・今後の農業政策について

### 藤原章議員

- ・連携中枢都市圏制度について
- ・増額した地方消費税交付金の使途について
- ・小野市福祉給付制度適正化条例施行後の動向について
- ・議案第17号 小野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

### 岡嶋正昭議員

- ・ひまわりの丘公園の維持管理について
- ・水道管の維持管理について
- ・エイジ・ルネサンス・パーティ実施の成果と今後の高齢者対策について

### 前田光教議員

- ・小野市の広聴システムについて
- ・小野ハーフマラソンの展望について
- ・もっともっと小野を変える取組について

### 竹内修議員

- ・障害者の支援について



改革クラブ

河島 三奈 議員

**小野市における安全安心への取組について**

**質問** 防犯カメラの設置計画について

**答弁** 現在、社警察署から防犯上最も有効視される箇所への設置要請を受け14箇所、15台の設置を順次進めている。来年度も警察からの追加要請など防犯上、設置が有効と考えられる箇所に市設置・管理の防犯カメラの設置を計画している。また地域においてプライバシー等にかかるトラブルが発生しないように防犯カメラの運用ルールを定める必要がある。(市当局)

**質問** 「安全安心センター」の活用内容について

**答弁** 小野交通安全協会、小野防犯協会等を安全安心センター内に配置し、業務を一本化することで更に官民一体となった地域の安全安心を守る体制の充実が図れると考えている。(市当局)

**質問** 小野警視派出所の移転による交番機能はどうなるか。

**答弁** 場所は神戸電鉄小野駅の西側に移転し、新交番として設置する。時期については、現在調整中である。(市長)

**中学校における部活動について**

**質問** 部活動の選択肢を増やす観点からの自由学区について

**答弁** 生徒の部活動の選択肢を増やすという点では理想的であるが、現在の下校時間は生徒の通学の安全を考慮し、夏季には午後6時、冬季は日没が早くなるため午後4時半になっており、自由学区として考えると生徒の他学校への移動時間がとれず実質的な部活動の時間が期待できない。加えて各学校では放課後にクラス行事などが予定されることが少なくなく、部活動以外の学校活動が制約される弊害が起こる事が予想されるため、困難であると考えている。(教育長)



市民クラブ

高坂 純子 議員

**小野市消防団女性分団(サンフラワーズ119)について**

**質問** サンフラワーズ119は、北播磨地域で初の女性消防団として発足し今年で14年が経過した。高齢者宅への防火訪問など女性ならではの活動を行っているが、市民の認知度が低い。運動会や新年交歓会などといった場所での見せる啓発活動なども必要と考えるがどうか。

**答弁** 新たな取り組みとして、女性分団が企画構成した消防団の広報誌を年1回作成する予定。全戸配布してより親しみのあるPRを行う。(市当局)

**質問** 近年は防災に対し、避難所のあり方や心のケアなど、細かい部分に女性の進出が不可欠。女性分団員の数を増やすべきでは。

**答弁** 女性分団が積極的に活動している成果を聞き、今後前向きに検討する。

**健康づくりと小野市総合体育館アルゴ活用について**

**質問** プールは全身運動が可能で水の浮力を利用する事から、高齢者が楽しく歩く健康づくりとして福祉とのコラボを考えてみてはどうか。

**答弁** 平成25年度利用者数は、8万1千人を超え、収入面でも、八千五百万円を得るなど、活況を呈している。高齢者を対象とした「水中散歩コース」を週三回開設している。福祉とのコラボは経費面での課題があるためむずかしいと考える。(市当局)

**放課後児童健全育成事業経費について**

**答弁** 平成27年度の学童保育の人数が350人と見込んでいるため、大半が指導員の人件費。小野小学校「のびのびクラブ」が75人と見込まれるため2クラス5人体制にする。(市当局)



市民クラブ

小林千津子議員

**安全安心な街づくりについて**

**質問** 現在自治会が管理している「防犯灯のLED化促進事業」と「防犯灯倍増5000作戦」に関して、市街地及びその周辺地域と山あいの地域とでは地域間格差があると感じますが、設置基準と現在の進捗状況について

**答弁** 自治会管理されている2072灯の内、347灯、約17%がLED灯に移行されています。防犯灯倍増作戦では26年度から30年度までの5か年計画で行い、設置から維持管理まで市が行います。本年度は設置目標600灯の1.3倍となる768灯を設置しています。27年度以降も自治会からの要望を十分反映し計画的に整備してまいります。(市当局)

**男女共同参画推進について**

**質問** 男女共同参画に対しての市民の意識について

**答弁** 全国的に見てもまだまだ男

性が優遇され、男女平等について隔たりがあると思われる方が多く、今後とも男女共同参画推進の啓発をし続けること、多様性や個を尊重する考えが大切です。男女共同参画に対する市民意識は日々着実に進歩してきていると考えます。(市当局)

**質問** 自治会役員への女性登用の進捗状況と女性役員となられた方の感想、現場の声について

**答弁** 89自治会中、23自治会において参画が進んでいます。現場の声として、女性役員からは「自治会のこととは知らないことばかりで男性の大変さがわかった」、「役員は男性がする意識が強かったが意識の変化を感じている」等前向きな感想がありました。また、男性役員からは「思いつかない発想が女性役員からあり、何十年と続いてきたことを変えた」、「女性も勇気を出し、引き受けてほしい」等、男女が平等な立場で責任を分かち合える自治会に理解を示した意見もありました。(市当局)



市民クラブ

山本悟朗議員

**小野南中学校の大規模改修について**

**質問** 小野南中学校の改修について伺います。

**答弁** 小野南中学校の改修については、平成一九年に設計をおこない、平成三〇年より、3ヶ年をかけて、工事実施を予定しています。現在の建物は耐震基準を満たしており、建物の枠は残した上で、より勉学に励める教育環境の整備に努めていきます。(市当局)

**生徒の個性を生かす中学校教育のあり方について**

**質問** 『自分に自信が持てる子供を育てる』という観点から、中学教育の取組を伺います。

**答弁** 教科の理解不足は生徒の勉強嫌いを招き、ひいては生徒が自信

を失う大きな要因になると考えられることから、教職員の加配を積極的に進め、個々の生徒の学習進度に応じた教科学習に取り組んでいます。今後、小中一貫校のさらなる推進により、早い段階から、教科担任制を実施することとなり、「多くの教師がそれぞれの視点で生徒の特性について観察するとともに、生徒の特性を共有することが進められます。これらの施策を通じて、なにか一つでも「自分にはコレがある」、「自分はこれができる」という思いを生徒一人ひとりが持てる教育を推進します。(教育長)



市民クラブ

山中修己議員

第6期介護保険事業計画について

**質問** 平成27年4月からの介護保険制度改定について問う

**答弁** 65歳以上の一号被保険者の介護保険料基準月額額は、小野市介護保険運営協議会において、将来推計サービスの将来見込量、施設整備計画等を審議していただき、現行5100円を5300円に引き上げる改定案を今期定例会に提案しました。本市では負担能力に応じた保険料の賦課を行うため、市独自基準を含め、市民税課税額に応じ、11段階の設定をしており、低所得者層については平成29年4月から、さらに引下げの予定です。今回の積算では5700円となったが、政府による介護報酬引き下げで215円、介護保険給付費準備基金の取崩しで185円を見込み5300円としたところです。なお、広報はHP、介護保険ガイドラインの全戸配布で詳しく説明し

ます。  
(市当局)

公用車の管理について

**質問** 議員ご指摘のとおり、市が所有する車両は、平成25年度末で136台です。内用途が限定されず、実質庁内で通常業務で利用している台数は47台です。日常管理は各所管課が行い、使用頻度は1日1回以上利用しています。この47台については各所管の必要台数を見極めながら、共通管理車両化へと進めていきます。  
(市当局)

小野市の資金運用と公金の管理について

**質問** 市の資金運用は法律で「確実かつ効率的に運用しなければならぬ」と定められており、債権及び預金で運用しています。75件ある準公金の管理についても、毎月末に複数人で確認しています。  
(市当局)



改革クラブ

松井精史議員

小野長寿の郷(仮称)構想における福祉拠点先行整備事業等について

**質問** 事業提案の募集状況等について

**答弁** 兵庫県が福祉拠点先行整備区域として、民間事業者から事業提案を求めた募集は、2者からの提案が受付され、2月17日に、行政関係者、大学教授、医療関係者など7人で構成された「事業提案審査委員会」が開催され、2次審査が終了しています。事業者の決定は、3月中旬頃に県から発表されると聞いています。  
(市当局)

まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

**質問** 「小野市版総合戦略」策定の進め方について

**答弁** これまでから取り組んできた「住むならやっぱりおの」の深化、つまりは、自治体間競争を高め、新

たな取り組むべき施策を盛り込み、時代の潮流に合致した「小野市流の総合戦略」策定に取り組んでいきます。  
(市当局)

今後の農業政策について

**質問** 担い手等への農地集積状況について

**答弁** 市全体の農地面積2・122ヘクタールのうち、約452ヘクタール、約21%が集積されています。また、担い手は、認定農業者、集落営農組織、地域の中心農業者です。  
(市当局)

**質問** 農地中間管理機構の活用は、どのようなメリットがあるのか。

**答弁** 貸し手は、安心して農地を貸し出すことができる。借り手は、機構からまとまった農地を長期間借り受けられる。集積に協力すれば、3種類の機構集積交付金(地域集積交付金、経営転換協力金、耕作者集積協力金)が交付されることです。  
(市当局)



共産党  
藤原 章議員

増額した地方消費税交付金の用途について

**質問** 消費税が8%になって、地方消費税交付金の増額はいくらか。

**答弁** 26年度は約6千万円、27年度は3億3千万円増額。(市当局)

**質問** 増加配分される地方消費税交付金は社会保障に充てるとされているが、小野市ではどうか。

**答弁** 社会保障関係費で、26年度は約3・1億円、27年度は約4・6億円増加しており、地方消費税増額は社会保障に充当している。

(市当局)

**質問** 国保会計への繰入金を増額する考えはなかったのか。

**答弁** 他の社会保障費でも地方消費税増額は不足しており、国保会計への繰入増加は難しい。(市当局)

福祉給付制度適正化条例施行後の動向について

**質問** 条例施行後の動向を問う。

**答弁** 本年2月末で、条例施行前

と比べると、生活保護受給者は13世帯・18人増加した。条例施行後の市民等からの情報提供は、要保護者が4件、不正受給が4件、不適切な費消が1件、非受給者に関するものが7件で、合計16件。(市当局)

**質問** 大きな議論になったパチンコ等の「不適切な費消」の情報は1件しかない。情報提供は「要保護者」に限定するよう条例改正を求めらる。

**答弁** 生活保護の不正が過去最高と報道されている。本条例が不正や浪費を予防する意味は大きい。「当り前の事」を決めた条例だ。改正・廃止は考えていない。(市長)

介護保険料引き上げについて

(市長)

**質問** 介護保険料は高齢者の大きな負担になっている。国に意見を言うべきだし、一般会計からの繰入れを検討すべき時期と思うがどうか。

**答弁** 全国市長会などで意見を言いたい。一般会計からの繰入れは政府が「不適切」としており、高齢者の気持は解るが考えにくい。(市長)



市民クラブ  
岡嶋 正昭議員

ひまわりの丘公園の維持管理について

**質問** 遊具の整備点検について問う

**答弁** 小野市都市施設管理協会を指定管理者として職員四名が公園の運営、植栽の管理、遊具の整備点検を行っている。遊具の整備点検は、目視により異常がないか毎朝確認。また市と協会は、月に一度目視、触診、聴診等により定期点検を実施している。大型遊具「海賊船パニックワールド」は、専門業者に保守点検を委託し、安全・安心して利用できるよう管理している。(市当局)

**質問** ひまわりの丘公園の整備計画について問う。

**答弁** 新年度、駐車場不足の解消、「道のオアシス」機能の拡充、ガーデンニング施設の整備、観光拠点の整備、特産品等販売施設の増設等、公園内のリニューアルや公園前農地の拡充等を含め、基本構想を策定し、北播磨のシンボル公園を目指す。(市当局)

エイジ・ルネサンス・パーティー実施の成果と今後の高齢者対策について

**質問** エイジ・ルネサンス事業の成果について問う。

**答弁** エイジ・ルネサンス・パーティーは十五回目を迎え、毎年約二百名の参加がある。「自分の再発見と新たな出会いを求めて」というテーマを掲げ、新たなステージへ第一歩を踏み出すための契機として実施してきた。それらの成果も踏まえ、今後も継続して実施する。(市当局)

**質問** 今後の高齢者施策について

**答弁** 新年度から、シニア世帯の自主活動を支援する「生きがいづくり支援制度」、これまでに培われた能力・技能を生かし、地域社会の問題解決を支援する「地域活動シニアサポートモデル事業」の二つの新規事業に取り組む。

また、「エイジ・ルネサンス・プロジェクト」を立ち上げ、これからの高齢化社会に即した施策を推進していく。(市当局・市長)



市民クラブ  
前田光教議員

**小野市の広聴システムについて**

**質問** 市民ニーズの変遷、更なる広聴について問う。

**答弁** 累計約13・400件の御意見を頂き、インフラ整備、ゴミ(不法投棄含む)の要望・御意見が多く寄せられている。回答の際には、協働と参画、市民の意識改革を促す内容も多くなっている。新年度からは、フェイスブック、ユーチューブを活用して情報発信を行い、新たな意見の集約に努める。(市当局)

**小野ハーフマラソンの展望について**

**質問** 小野ハーフマラソンへの意見及び今後の展望について問う。

**答弁** 1・500名を超えるボランティアスタッフの皆様が協力頂き感謝している。また、運営体制、情報伝達、調整の不備等、御意見を頂き、

主体は実行委員会であるが、次回大会に反映していく。元気な市民、誇り高き地域力で、冠たる北播の祭りとして深化した小野まつり同様に、特色ある飛び抜けた存在のマラソン大会になると確信している。(市当局・市長)

**もつともつと小野を変える取組について**

**答弁** 「住むなら！やっぱりおの」の実現を目指し、子育て支援に重点を置きつつ、高齢者政策への転換を通じて、元気な高齢者の方々の生きがいを創出し、「生涯現役のまちづくり」への仕組みづくりを推進していく。具体的には、「生きがいづくり支援事業」、「地域活動シニアサポートモデル事業」の創設、「小野長寿の郷構想」の実現、「医療・福祉・健康」が三位一体となった新たな拠点構築など、更なる発展に向けた基盤整備に取り組む。(市長)



公明党  
竹内修議員

**障害者の支援について**

**質問** 障害の種類や程度、世代等に応じた細やかな相談支援体制が必要ですが、市では相談窓口がより身近になるようにどうされていますか。

**答弁** 身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、難病患者ごとにそれぞれ分類や障害の程度も様々で年齢や家庭環境により、直面される課題、必要とされる支援は多種多様です。

市では相談支援が非常に重要であると考え、障害福祉窓口のほか、福祉総合支援センターに相談支援センターを開設し、精神保健福祉士の資格を持つ障害者相談支援専門員2名を配置、さらに市では身体障害者相談員6名、知的障害相談員2名、精神障害者相談員3名を設置し障害別に相談が受けられるように、体制を整えています。(市当局)

**質問** 「障害者総合支援法」により難病患者が、障害者の範囲に加えられました。難病患者へのサービスはどのようになっていますか。

**答弁** 対象となる疾病が130から151に拡大、それに伴い「障害福祉サービス」「補装具費の支給」「地域生活支援事業」等のサービスを受けられるようになりました。(市当局)

**質問** 高齢化への対応は

**答弁** 小野市全体の高齢化率は、25・3%、障害手帳所持者全体では56・5%で年々進行をしています。

障害者の高齢化に伴い居宅介護や生活介護、視覚障害者の外出に伴う同行支援など、また補装具費の支給福祉タクシー事業の利用なども増えると考えます。このような状況に鑑み公的支援等のあり方、拡充や変更などの対応について検討をしていきます。(市当局)

# 常任委員会審査報告

## 各常任委員会に付託された議案

3月12日開催

### 総務文教常任委員会

- 議案第22号 平成26年度小野市一般会計補正予算(第7号)
- 議案第23号 損害賠償額の決定及び民事調停の成立について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。

3月12日開催

### 民生地域常任委員会

- 議案第22号 平成26年度小野市一般会計補正予算(第7号)

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。

3月定例会の提出議案について、常任委員会に審査を付託されたのは、議案第13号から議案第20号、議案第22号及び議案第23号の10議案で、3月12日及び3月24日に総務文教及び民生地域の各常任委員会をそれぞれ開催しました。各常任委員会に審査を付託された議案及び審査結果は次のとおりです。

3月24日開催

### 総務文教常任委員会

- 議案第13号 小野市議会委員会条例及び小野市の組織及びその事務分掌に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第14号 小野市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第18号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 議案第19号 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第20号 小野市社会教育委員の定数及び任期に関する条例を廃止する条例の制定について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。



3月24日開催

### 民生地域常任委員会

- 議案第15号 小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第16号 小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第17号 小野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。



# 予算特別委員会意見

## 予算総額356億円

平成27年度の小野市予算が3月定例会に提出されました。これを受け議会は、全議員が委員となる予算特別委員会を設置して、3月16日、17日、19日の3日間、担当部局ごとに予算審査を実施しました。新年度予算編成にあたって掲げられた「新たな価値観の創造へ～キーワードは『ハードからハード』」にどう取り組むのか、そして厳しい財政状況が続いている中で市政をどのように運営するのかなど、委員から多くの意見が出されました。

予算特別委員会が各部局へ要望した意見は下記のとおりです。

### 付託議案（7件）

- 議案第1号 平成27年度小野市一般会計予算
- 議案第2号 平成27年度小野市国民健康保険特別会計予算
- 議案第3号 平成27年度小野市介護保険特別会計予算
- 議案第4号 平成27年度小野市後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第5号 平成27年度小野市都市開発事業会計予算
- 議案第6号 平成27年度小野市水道事業会計予算
- 議案第7号 平成27年度小野市下水道事業会計予算

### 総合政策部

らんらんバスの2台増車にあたっては、地域公共交通会議の意見を最大限反映するなど、市民満足度の向上を図りたい。  
らんらんバスの総合時刻表作成にあたっては、他の公共交通機関との相互利用が促進できるよう、利用する市民の目線に立ったものとなるよう努められたい。

### 市民安全部

不法投棄対策については、県の権限となる産業廃棄物と、市の権限である一般廃棄物とに分かれるが、市民の安全と安心を確保するため、対応を図られたい。

### 市民福祉部

保育料の算定にあたって、婚姻歴のない未婚のひとり親世帯の経済的負担の軽減を図るため、専婦（夫）控除の「みなし適用」を検討されたい。  
妊婦健康診査費の一部助成について、すべての妊婦さんが安心して安全に出産できるよう今後とも継続的に実施されたい。

ひまわりの丘公園のリニューアル計画調査に際し、児童館チャイルドの魅力が更に増すような取組も検討されたい。

### 地域振興部

市道片山高田線の整備にあたっては、これまでから要望の多かった通学路の区間も含まれることから、整備地域と協働して早期完成に努力されたい。  
ゴルフ場利用促進事業にあたっては、関係課との連携を図りながら、市の観光産業の振興に寄与するよう努められたい。

有害鳥獣対策については、有害鳥獣並びに特定外来生物の捕獲に関する猟友会への委託、狩猟免許取得時の補助などに取り組まれているが、駆除要望者である地元自治会へのきめ細かな指導や助言を行い、円滑な事業実施ができるよう努められたい。

市道及び生活道路の補修や整備については、市民要望が一番多い事柄でもあり、安全で安心した暮らしの実現に向け、十分な予算を確保されたい。

### 教育委員会

中学校の部活動に関して、生徒の送迎を保護者が行う場合があるが、保護者の負担を軽減するような方を検討されたい。  
シビックゾーンの中心にある図書館について、ますます魅力のあるものとなるよう創意工夫されたい。



平成27年度  
予算重点項目

- ・ 特色ある地域づくりの推進
- ・ 子ども・子育て、教育環境の充実
- ・ 元気で美しい都市の創造
- ・ 安全・安心な暮らしの追及

## 平成26年度 政務活動費収支報告書

会派に対する政務活動費一人あたり月2万円交付

		市民クラブ	改革クラブ	公明党	藤原 章
		7名	4名	2名	1名
収入	支給額	1,680,000	960,000	480,000	240,000
	研究研修費	17,480	17,480		
支出	視察調査費	1,178,782	805,462	136,460	
	資料作成費				
	資料購入費	44,317	46,401	32,400	31,648
	広報広聴費				172,793
	計	1,240,579	869,343	168,860	204,441
差引額		439,421	90,657	311,140	35,559

差引額がある会派（議員）は、その額を市に返還しています。

# 全国から視察続々

平成18年度以降  
最高の件数

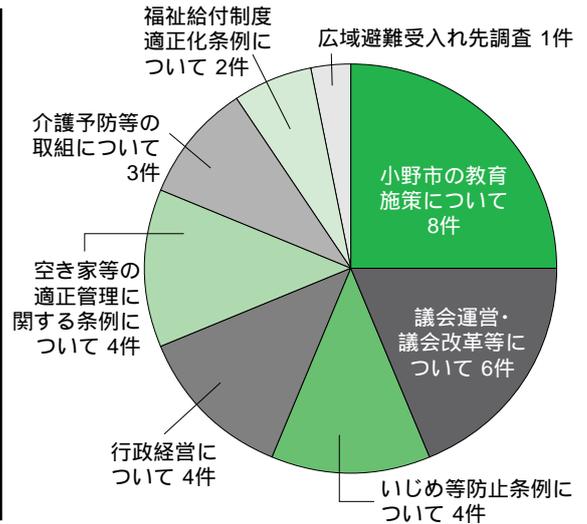
小野市議会では、毎年全国の議会から行政視察の受入れを行っています。  
平成26年度は、29件の視察を受入れており、平成18年度以降では最高の件数となりました。  
視察内容別では、東北大学川島隆太教授の脳科学の知見に基づく『おの検定』や『16か年教育』などの「教育施策」が8件と一番多く、次に「議会運営・議会改革等の取組」が6件、「いじめ等防止条例」、「行政経営」、「空き家等の適正化に関する条例」がそれぞれ4件となっています。

## ◆ 平成26年度視察一覧 ◆

	視察日	自治体名	委員会名等	視察内容
1	4月24日(木)	沖縄県宜野湾市 沖縄県石垣市	議員2名 議員1名	小野市の教育施策について
2	5月13日(火)	埼玉県東松山市	厚生文教常任委員会	おの検定・16か年教育・不登校対策 ICT教育について いじめ等防止条例・いじめ対応マニュアルについて
3	5月14日(水)	京都府舞鶴市	総務文教委員会	おの検定(脳科学を取り入れた施策) 小中連携教育の取組みについて
4	5月15日(木)	埼玉県朝霞市	総務常任委員会	行政経営について
5	5月21日(水)	大分県別府市	厚生環境教育委員会	福祉給付制度適正化条例について いじめ等防止条例について
6	7月3日(木)	福岡県筑紫野市	文教福祉常任委員会	不登校ゼロ運動について 適応教室『みらい』について
7	7月17日(木)	北海道帯広市	建設常任委員会	空き家に関する取組みについて
8	7月24日(木)	埼玉県飯能市	議会運営委員会	議会運営(議会ライブ中継、委員会制度等)について
9	8月8日(金)	福岡県行橋市	議員4名	行政経営について
10	8月18日(月)	佐賀県神埼市	議会運営委員会	議会活性化の取組みについて
11	8月20日(水)	福井県若狭町	総務産業建設常任委員会	広域避難受け入れ先調査
12	8月20日(水)	岩手県遠野市	教育民生常任委員会	おの検定と16か年教育について
13	10月9日(木)	岐阜県羽島市	民生文教常任委員会	いじめ等防止条例について
14	10月10日(金)	奈良県桜井市	産業建設常任委員会	空き家等の適正管理に関する条例について
15	10月23日(木)	愛知県東海市	文教厚生委員会	おの検定と16か年教育について
16	10月29日(水)	神奈川県座間市	議員7名	福祉給付制度適正化条例について いじめ等防止条例について
17	11月7日(金)	愛知県半田市	地域包括ケアシステム調査特別委員会	生活支援サポーターの活動状況等について
18	11月12日(水)	長崎県長崎市	議員2名	人生手帳について
19	11月13日(木)	千葉県旭市	議会運営委員会	議会運営及び議会改革の取組について
20	11月18日(火)	茨城県 常陸太田市	総務委員会	行政経営について
21	11月19日(水)	秋田県能代市	総務企画委員会	行政経営について
22	1月14日(水)	鹿児島県指宿市	文教厚生委員会	おの検定と16か年教育について
23	1月20日(火)	北海道紋別市	議会運営委員会	議会改革について
24	1月21日(水)	兵庫県川西市	議員3名	新たな教育施策について
25	1月22日(木)	神奈川県藤沢市	厚生環境常任委員会	介護予防サポーター事業・ おの健康貯筋通帳について
26	1月28日(水)	岩手県花巻市	議会運営委員会	議会運営と議会活性化の取組について
27	1月29日(木)	滋賀県長浜市 滋賀県米原市	両市議会連絡協議会	空き家等の適正管理に関する条例について
28	2月4日(水)	兵庫県加東市	議員4名	政務活動費について
29	2月6日(金)	山口県光市	総務市民文教常任委員会	空き家等の適正管理に関する条例について

◆ 視察内容別ランキング ◆

順位	視察内容	件数
1	小野市の教育施策について おの検定・16か年教育・不登校対策等	8
2	議会運営・議会改革等について	6
3	いじめ等防止条例について	4
	行政経営について	4
	空き家等の適正管理に関する条例について	4
4	介護予防等の取組について	3
5	福祉給付制度適正化条例について	2
6	広域避難受入れ先調査	1



1回の視察で複数の内容を視察される場合があります。

1位

教育施策について



埼玉県東松山市

2位

議会運営・議会改革等について



北海道紋別市

3位

行政経営について



秋田県能代市

3位

いじめ等防止条例について



岐阜県羽島市

3位

空き家等の適正管理に関する条例について



滋賀県長浜市・米原市

## 議会の動き

### 【2月】

- 2日 市長当選証書付与式
- 3日 全国市議会議長会基地協議会(東京)
- 4日 兵庫県加東市行政視察(来市)  
" 北播磨総合医療センター企業団議会
- 6日 山口県光市行政視察(来市)
- 8日 PTCA活動支援事業実践発表会
- 9日 議員協議会
- 10日 地方行政課題研究会
- 12日 兵庫県市議会議長会総会(神戸市)
- 12日~13日 改革クラブ行政視察(長崎市・大村市)
- 13日 おだの里開所式
- 16日 小野加東広域事務組合議会
- 18日 北播衛生事務組合議会(加東市)  
" 播磨内陸医療事業組合議会(加東市)
- 19日 議会運営委員会  
" 市議会報編集委員会  
" 北播磨こども発達支援センター事務組合議会(加東市)
- 20日 北播磨総合医療センター企業団議会
- 22日 スポーツ表彰式
- 23日 退職手当組合定例会  
" 都市計画審議会
- 24日 小野加東加西環境施設事務組合議会
- 26日 3月定例会(第1日)
- 27日 北播政経懇話会(西脇市)

### 【3月】

- 8日 おの陣屋大茶会
- 9日 播磨看護専門学校卒業式(加東市)
- 10日 中学校卒業式
- 11日 3月定例会(第2日)  
" 議会運営委員会
- 12日 3月定例会(第3日)  
" 総務文教・民生地域常任委員会
- 16日 予算特別委員会(第1日)
- 17日 予算特別委員会(第2日)
- 18日 特別支援学校卒業式
- 19日 予算特別委員会(第3日)  
" 姉妹都市親善訪問使節団派遣壮行会
- 20日 小学校卒業式  
" 北播政経懇話会  
" 小野市環境審議会
- 23日 小野商工会議所通常議員総会  
" 永寿企業並びに優良従業員表彰式
- 24日 総務文教・民生地域常任委員会
- 26日 議会運営委員会  
" 3月定例会(第4日)  
" 議員協議会

### 【4月】

- 7日 特別支援学校入学式  
" 中学校入学式
- 8日 小学校入学式
- 10日 幼稚園入園式
- 12日 小野市消防大会
- 14日 近畿市議会議長会定期総会(大阪府吹田市)
- 15日 小野市老人クラブ連合会総会
- 16日 東播・淡路市議会議長会定例会(南あわじ市)  
" 姉妹都市親善訪問使節団派遣報告会
- 17日 市議会報編集委員会
- 21日 小野匠工業会総会
- 30日 連合区長会総会

## ぜひ、傍聴にお越しください

6月定例会は、次の日程で開催いたしますので、ぜひこの機会に、議会の傍聴にお越しください。



6月定例会日程	6月1日(月)午前10時~	本会議(第1日)
	6月22日(月)午前10時~	本会議(第2日) 一般質問実施
	6月23日(火)午前10時~	本会議(第3日) 一般質問実施
	6月29日(月)午後1時30分~	本会議(第4日)

定例会の第2日(22日)、第3日(23日)は、議員の一般質問が行われます。

一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。なお、一般質問の内容は、質問が行われる日までに市議会ホームページで公開します。

傍聴の手続きは、本会議の当日に本庁舎5階の受付で傍聴者名簿に記入するだけです。なお、傍聴席は34席で、先着順となります。傍聴席が満席の場合は、第2委員会室(傍聴者休憩室)でテレビでの傍聴(ライブ中継)となります。

## 「託児コーナー」開設します

一般質問が行われる6月22日(月)、23日(火)の午前中は、「託児コーナー」を開設します。就学前のお子さまをお持ちの保護者のみなさまも議会を傍聴していただくことができます。ご希望の方は、6月12日(金)までに議会事務局にお申し込みください。

## 傍聴者休憩室を開設します

一般質問が行われる2日間は、傍聴の方が休憩していただけるように議場の隣に傍聴者休憩室を開設します。セルフサービスのお茶も用意していますので、お気軽にご利用ください。

## 自宅に居ながら議会の傍聴

### 市議会LIVE中継実施中

議会の本会議(定例会・臨時会)が行われているときは、インターネットで生放送がご覧いただけます。また、過去に行われた本会議の録画も同様です。いずれも小野市議会ホームページからご覧ください。

LIVE市議会中継 小野市議会 | 検索